

みたけ

2012.5.15
No.105
議会だより



みたけの森のささゆり

主な内容

- ◆第1回定例会 2ページ
- ◆第1回臨時会 6ページ
- ◆そこが知りたい ～ 一般質問 ～ 7ページ
- ◆常任委員会視察研修レポート 14ページ

【表示記号】 賛否状況：○…賛成 ×…反対 欠…欠席 —…議長のため採決に加わらない 議決結果：◎…可決、承認、認定 ●…否決、不承認、不認定	議 員 名											議決結果	
	谷口 鈴男	佐谷 時繁	岡本 隆子	大沢 まり子	植松 康祐	伊崎 公介	加藤 保郎	山田 儀雄	柳生 千明	安藤 雅子	山口 政治		高山 由行
議案第18号	御嵩町立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第19号	御嵩町中山道みたけ館設置条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第20号	御嵩町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第21号	御嵩町分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第22号	みたけのええもん審査委員会設置条例の制定について	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	◎
議案第23号	御嵩町公共下水道事業受益者負担金に関する条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第24号	指定管理者の指定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第25号	町道の路線変更について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第26号	岐阜県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎

平成24年度 当初予算

	会 計 名	予算額	対前年度増減率(%)	
議案第4号	平成24年度御嵩町一般会計予算について	62億7,400万円	△ 1.0	賛成多数で可決 ※(討論あり)
議案第5号	平成24年度御嵩町国民健康保険特別会計予算について	19億8,800万円	1.2	賛成全員で可決
議案第6号	平成24年度御嵩町後期高齢者医療特別会計予算について	1億6,700万円	1.2	賛成全員で可決
議案第7号	平成24年度御嵩町介護保険特別会計予算について	12億7,300万円	3.6	賛成全員で可決
議案第8号	平成24年度御嵩町下水道特別会計予算について	8億6,300万円	15.1	賛成全員で可決
議案第9号	平成24年度御嵩町水道事業会計予算について	11億1,200万円	67.2	賛成全員で可決

※議案第4号の討論内容

《反対》

11番 岡本 隆子 議員

- ・公共交通を総合的にどう考えていくのか見えてこない。名鉄支援はH24までと後ろが決まっているのに、対応の遅れがエコバス試験運行の1年延長になっているため反対。

《賛成》

7番 加藤 保郎 議員

- ・エコバスは、ふれあいバスとの全体的な公共バスの運行等の施策の中で、今後も企業との連携を図っていけるので賛成。

人 事

議案第3号	副町長の選任につき同意を求めることについて	平成24年3月31日に任期が満了するため、副町長の選任について議会の同意を求めるもの	賛成全員で可決
-------	-----------------------	--------------------------------------------	---------

平成23年度 補正予算

議案第10号	平成23年度御嵩町一般会計補正予算（第5号）について	各事業における額の確定及び精査等に伴うもの	賛成全員で可決
議案第11号	平成23年度御嵩町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	各事業における額の確定及び精査等に伴うもの	賛成全員で可決
議案第12号	平成23年度御嵩町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	各事業における額の確定及び精査等に伴うもの	賛成全員で可決
議案第13号	平成23年度御嵩町介護保険特別会計補正予算（第3号）について	各事業における額の確定及び精査等に伴うもの	賛成全員で可決
議案第14号	平成23年度御嵩町下水道特別会計補正予算（第4号）について	各事業における額の確定及び精査等に伴うもの	賛成全員で可決

平成23年度 補正予算のあらまし （単位：千円）

	会 計 名	補正前予算	補正額	補正後予算
議案第10号関連	一般会計補正予算（第5号）	7,106,436	47,678	7,154,114
議案第11号関連	国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	2,055,748	△39,888	2,015,860
議案第12号関連	後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	171,468	109	171,577
議案第13号関連	介護保険特別会計補正予算（第3号） 保険事業勘定	1,238,366	40,331	1,278,697
議案第13号関連	介護保険特別会計補正予算（第3号） 介護サービス事業勘定	4,487	195	4,682
議案第14号関連	下水道特別会計補正予算（第4号）	812,100	0	812,100

条 例

議案第15号	御嵩町交通安全対策会議条例の一部を改正する条例の制定について	交通安全対策法の一部改正が行われたことに伴い関係する町条例の一部を改正するもの	賛成全員で可決
議案第16号	御嵩町町税条例の一部を改正する条例の制定について	地方税に関する法律の一部改正が行われたことに伴い関係する町条例の一部を改正するもの	賛成全員で可決
議案第17号	御嵩町基金条例の制定について	14ある基金条例を、管理及び運用をより確実なものとするため一本化するもの	賛成全員で可決
議案第18号	御嵩町立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地方主権改革に伴い社会教育法の一部改正が行われたことにより関係する町条例の一部を改正するもの	賛成全員で可決
議案第19号	御嵩町中山道みたけ館設置条例の一部を改正する条例の制定について	地方主権改革に伴い図書館法の一部改正が行われたことにより関係する町条例の一部を改正するもの	賛成全員で可決

議案第20号	御嵩町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	所得段階別保険料率の改正を行うもの	賛成全員で可決
議案第21号	御嵩町分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について	県が進めている仮称 震災対策ため池整備事業に対応するために町条例の一部を改正するもの	賛成全員で可決
議案第22号	みたけのええもん審査委員会設置条例の制定について	御嵩町を代表する特産品を広く町内外へ周知するため、審査を行う審査委員会の設置をするもの	賛成多数で可決 ※（討論あり）
議案第23号	御嵩町公共下水道事業受益者負担金に関する条例の一部を改正する条例の制定について	受益者負担金の延滞金利率を都市計画法の規定に定められている利率に改正するもの	賛成全員で可決

※議案第22号の討論内容

《反対》

7番 加藤 保郎 議員

- ・みたけのええもん審査委員会設置の前に、まず、特産品開発普及協議会の活動支援などを活発的に行うべきなので反対。

8番 伊崎 公介 議員

- ・特産品開発普及協議会のバックアップをしっかりと、特産品をつくり、アピールし販売することが大事であるので反対。

《賛成》

1番 高山 由行 議員

- ・協議会のメンバーとは別の人たちが、審査委員となり改めて特産品の認定、開発をバックアップできるので賛成。

12番 佐谷 時繁 議員

- ・みたけのええもん審査委員会の設置は、世間に対し一歩でも二歩でもアピールする力強い対応ができるので賛成。

その他の議案

議案第24号	指定管理者の指定について	中児童館及び伏見児童館の指定管理者による管理運営が平成24年3月31日に終了するため、4月1日以降の指定管理者を指定するもの	賛成全員で可決
議案第25号	町道の路線変更について	町道の路線を道路法の規定により変更するもの	賛成全員で可決
議案第26号	岐阜県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	住民基本台帳法、入管法の一部改正が行われたことにより、規約の一部改正が必要となるもの	賛成全員で可決

諸般の報告（議長報告）

報告第1号	岐阜県建設技術協会の要望書	岐阜県建設技術協会
報告第2号	「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書採択を求める陳情	アジアと日本の平和と安全を守る岐阜県フォーラム
報告第3号	常任委員会所管事務調査報告書	民生文教常任委員会 総務建設産業常任委員会
報告第4号	現金出納検査結果報告	(平成23年11月分から平成24年1月分)

平成24年 第1回臨時会

平成24年2月10日に、平成24年第1回臨時会を開会しました。
上程議案が2件と報告案件1件（町長報告）がありました。

議案の審議結果

【表示記号】 賛否状況：○…賛成 ×…反対 欠…欠席 －…議長のため採決に加わらない 議決結果：◎…可決、承認、認定 ●…否決、不承認、不認定	議 員 名											議決結果
	谷口 鈴男	佐谷 時繁	岡本 隆子	大沢まり子	植松 康祐	伊崎 公介	加藤 保郎	山田 儀雄	柳生 千明	安藤 雅子	山口 政治	
議案第1号	工事請負契約の締結について											◎
議案第2号	可児市道路線の認定の承諾の一部変更について											◎

その他の議案

議案第1号	工事請負契約の締結について	町道井尻大久後線復旧工事の仮契約によるもの	賛成全員で可決
議案第2号	可児市道路線の認定の承諾の一部変更について	平成23年第4回定例会で議決をした可児市道路線の認定の承諾について、その内容に一部誤りがあったため変更するもの	賛成全員で可決

諸般の報告(町長報告)

報告第1号	専決処分の報告について（損害賠償の額）
-------	---------------------

民生文教常任委員会施設訪問

民生文教常任委員会では、平成24年1月27日（金）に福祉・教育関連施設を訪問し、各施設の現状確認並びに問題点についてを目的として視察を行いました。

【訪問先】

みたけ会館 ふらっとハウス みたけ健康館 あっと訪夢 伏見児童館 ぽっぽ館 あゆみ館 中児童館
B&G 海洋センター 中山道みたけ館 中山道御嶽宿商家竹屋 オアシス教室

□施設訪問の様子



平成24年 第1回定例会

そこが知りたい

一般質問は3月7日に行われ、6人の議員が活発な質問をしました。

1 加藤 保郎 議員 …… 8 ページ

- 下水道料金について
- 総合計画後期基本計画策定について

2 大沢 まり子 議員 …… 9 ページ

- 胆道閉鎖症について
- 福祉施設について

3 高山 由行 議員 …… 10 ページ

- 防災行政について
- 公共施設の（建物関係）改修について
- 住宅リフォーム助成事業について

4 佐谷 時繁 議員 …… 11 ページ

- 役場職員の駐車場の有料化について
- 公共料金などの滞納の取り扱いについて

5 伊崎 公介 議員 …… 12 ページ

- 緑の分権改革のその後
- 減額された企業誘致奨励金をどう活用するか

6 岡本 隆子 議員 …… 13 ページ

- わいわい館について
- 名鉄広見線について

あなたも議会を傍聴しませんか

議会では、町民の皆様の暮らしに密着した重要な問題が審議されます。

所定の受付簿に住所、氏名等を記入し、傍聴券の交付を受けることにより、町議会を傍聴することができます。お気軽にお越しください。

くわしくは、議会事務局までお問い合わせください。

☎ 67-2111（内線 2252）

文責についてお知らせ

一般質問の「問・答」は、質問議員本人の文責です。一般質問のページに掲載した内容について、議員に直接連絡がつかない場合は、ご質問の内容、お名前、連絡先（住所、電話番号等）を添えて、議会事務局まで書面にてお届けください。各議員に連絡いたします。

インターネットで議会の情報が閲覧できます

議会だより、議会の議事録等がインターネットで閲覧できます。（なお、議事録は、作成・確認作業の為、掲載まで若干の期間を要します。）

御嵩町ホームページのトップ画面の下の方にあるサービスガイドの広報の欄にある「議会情報」をクリックしてください。

www.town.mitake.gifu.jp/index.cfm



下水道料金算定と総合計画の背景



加藤 保郎

問 下水道料金（井戸水を使用している場合の使用料の算定）

岐阜市で、井戸水を使用している世帯の下水道料金の違法な状況があるとの裁判での判決があった。御嵩町でも同様の事例等が存在するが、認定基準汚水量の算定の根拠を説明できるかが問題である。

①水道水以外の使用による世帯数六戸と水道水と井戸水の併用世帯一五〇戸の認定後の使用実態の調査や把握方法は、

②異議の申し立てはあったか。また、使用水量の認定（算定）の根拠の考えは、

答 【建設部長】

①年度末の転入、転出が予想される時期を前にこの1月下旬に井戸水などを使用してみえる全世帯に人員の変更や井戸水の使用をやめた場合には変更届け出が必要である旨を通知し現在、返送されつつある変更届け出書を集計中である。

②異議の申し立てはなかった。この1月分の下水有収水量が八万三、五〇六平方メートル、接続世帯は三五五九世帯で世帯当り約二三平方メートル、町の平均世帯人員数が約三人であり認定水量の三人世帯の二三平方メートル

と同数値であり使用者の態様を勘案した数値である。

問 第四次総合計画 後期基本計画策定の背景

平成22年8月から前期計画の施策・事業の成果と課題を検証し、社会経済状況や住民ニーズの変化も踏まえて基本計画部分の見直しを行い、平成23年度から平成27年度までの5カ年間で計画期間とした後期基本計画を策定した。

①後期基本計画策定の委託の範囲はどこまでか。

②町長の考えや選挙公約等の内容は、盛り込まれているか。

③作業的に平成23年度予算にどのように反映させたか。

答 【総務部長】

①委託の範囲は、計画策定の前提となる町民意識調査アンケート（二、〇〇〇人対象）など基礎調査、前期基本計画に掲げた施策・事業の達成状況の検証、後期基本計画原案作成、後期基本計画に掲げた重点プログラムの進捗管理等の四つの業務で委託料は、四百三十五万七、五〇〇円。

③昨年町長選挙の実施で、町長が変わると公約も変わる可能性も考慮し、後期基本計画策定の最終調整を選挙後の七月に行った。

町長が再任されたこともあり、ほぼ公約等は後期基本計画の主要施策に反映されていると考えている。

答 【町長】

②総合計画は、行政という程度安定的な財源がある中で策定されている。

町長の任期は4年間であり、総合計画という大変な縛りを感じての仕事であったが、最初の選挙のマニフェスト作成には総合計画を意識した内容としている。

後期基本計画の作成にあたっては、私が常日頃言っていることを分かりやすい言葉で、目指す姿に向かうための手段をしっかりと描いており、何をすることも町民の皆さんの力を借りるという協働の考え方を示しながら、幅広く知っていただかなければならないと考えている。

伏見児童館「ケアホーム」建設に向け前向きに検討



大沢まり子

問

この4月から胆道閉鎖症の早期発見のための「便のカラーカード」が母子手帳に掲載されることになった。

1 胆道閉鎖症への認識を伺う

2 カラーカードの効果的な活用のために伺う

① 保健師などの研修はどう行つか。

② 保護者への情報提供はどのようにされるか。

③ 医療機関との連携はどうするか。

④ ポスターなどでの周知、啓発は考えているか。

答

【民生部長】

1 胆道閉鎖症は、肝臓と十二指腸を結ぶ胆道がつまってしま

う病気である。肝臓で作られた胆汁が十二指腸に流れないため、黄疸を引き起こし、放置すると胆汁性肝硬変に進行して死亡に至るなど危険性が高い。

この病気のポイントは、早期発見・早期治療である。

① 町は平成19年度から便のカラーカードを配布しており、それに伴い職員研修を重ねている。

② 母子健康手帳交付時に、便のカラーカードを配布し、その取扱いと注意点について説明している。

③ 医師・保健師など母子保健関係者は、この病気の専門知識を有しており、それ

ぞれの立場で赤ちゃんの状況を確認し、小さな命を守るためのシステマチックな流れが形成されていると考えている。

④ この4月から母子健康手帳をリニューアルするにあたり、記載内容の変更について広報などで周知していく。

問

町内の福祉施設2箇所について伺う

① 伏見児童館の老朽化、耐震性を懸念し、災害時の避難所と健康作りのための筋トレ教室、子どもの遊び場として児童館などの複合施設として新しく立て替える考えはないか。

② 障がい者本人や保護者の高齢化が進む中、障がいを持った方の自立と言う観点からも障がいをもった方が入所し生活できる

「ケアホーム」の必要性を痛感している。障害者支援多機能事業所「あゆみ館」北側の町有地に建設用地は用意されているが建設計画はどうなっているのか。早期建設を求める。

答

【町長】

一般論としては、町内にある施設は維持管理により、いかに延命を図るかが町の立場である。

① 伏見児童館は耐用年数38年に対し既に40年が経過し、耐震診断上も危険な建物であると認定されており、対応が喫緊の課題である。

伏見児童館については、この1年間でのしつかりした議論を踏まえ、子どもを中心として高齢者にも現役世代のメタボ対策としても使用で

きる施設として、名鉄八百津線跡地も含めた地域的な活用シナリオを描けたらと考えている。

② ケアホームについては、障がいの者の保護者が高齢化することから、必要性について提案してきた。

今後手がけるとすれば、民設民営を基本とし、多くの機能を持たせ、近いところでの設置が望ましいと考えている。

財源は、町の福祉向上基金や、電源立地交付金等と国・県の補助金や交付金を活用し、有利な組み合わせとしたい。

できる限り「御高の子は御高で」の考え方で、福祉を充実させたまちづくりのため、データを出しながら前向きな検討をしていきたい。

災害時応援協定の現状と今後の考え方

業者と災害時応援協定を締結している。主な内容は、人的支援、道路等の応急復旧、飲料水の提供、生活必需品の調達、施設の開放など。昨年、

い町財政の中、施設の維持管理に努めていると考える。大規模改修、小規模修繕は、耐用年数等考えて計画的に行なっているか伺う。

せず、町内業者の施工するリフォーム工事の経費の一部を助成する事業が、住民の居住環境の向上と、町内業者の活性化、振興を図る上で必要と考えるが、町長の所信を伺う。



高山 由行

問 防災行政について

災害時応援協定の現状と今後の考え方。

答 【総務部長】

東日本大震災を受け防災行政が見直しされている中、日本という国は「互助」の精神の上に成り立ち助け合える国民だと思ふ。御嵩町も2年続けての豪雨災害が襲い、亜炭廃坑の問題もあり、大規模災害に対する平時の「そなえ」として3点伺う。

①昨年4回にわたり消防団員と町職員が宮城県七ヶ浜町での災害ボランティア活動と大きな被害を被った石巻市での視察を行った。参加者の得た一番大きな教訓は、災害の想定を出る限り広くし、それへの柔軟な対応能力を向上させる必要性であった。この教訓を、平成24年度から実施する御嵩町地域防災計画の修正、避難所運営マニュアルの見直し、9月の防災訓練などに生かしていきたい。

②現在、19の民間事業者と災害時応援協定を締結している。内容は、人的支援、道路等の応急復旧、飲料水の提供、生活必需品の調達、施設の開放など。昨年、一昨年の豪雨災害では協定が有効であった。今後、新たな分野で応援協定を締結できるように働きかけていきたい。

③現時点では、他の自治体と災害時応援協定を締結していない。今後、同じ災害で被害を被らない程度の距離の市町村と協定が締結できるように積極的に働きかけていきたい。

答 【総務部長】

町の公共施設は、人口が急増していた昭和50年代に補助金を活用して建てられたものが多く、現在かなり老朽化が進んでいる。こうした施設の耐震工事や改修は、総合計画に規定する3カ年ごとの実施計画において、当該工事の重要度、活用可能な補助制度などを参考に優先順位を付け計画的に工事を実施している。

答 【町長】

リフォーム助成事業は、現時点では効果が期待できるか確かでないため視野に入っていない。

財源の問題もあり、この方法も含め何らかの良い方法がないか探していきたいと考えている。

町内業者が生き延び、納税していただくのが理想であり、安くて良いものが提供されるための努力を期待している。

問 公共施設（建物関係）の改修について

御嵩町が管理している公共施設は、役場庁舎をはじめ数多くあるが、大変厳しい

御嵩町が管理している公共施設は、役場庁舎をはじめ数多くあるが、大変厳しい

問 住宅リフォーム助成事業について

工事対象を限定

③自治体間における

②現在、19の民間事

業者と災害時応援協定を締結している。主な内容は、人的支援、道路等の応急復旧、飲料水の提供、生活必需品の調達、施設の開放など。昨年、一昨年の豪雨災害では協定が有効であった。今後、新たな分野で応援協定を締結できるように働きかけていきたい。

町の公共施設は、人口が急増していた昭和50年代に補助金を活用して建てられたものが多く、現在かなり老朽化が進んでいる。こうした施設の耐震工事や改修は、総合計画に規定する3カ年ごとの実施計画において、当該工事の重要度、活用可能な補助制度などを参考に優先順位を付け計画的に工事を実施している。

町内業者が生き延び、納税していただくのが理想であり、安くて良いものが提供されるための努力を期待している。

信頼される行政を



佐谷 時繁

問 役場職員駐車場の有料化について

以前、この件について提案しましたが、今回改めて提案します。

可見市など近隣の自治体、各金融機関など有料化を実施しています。町民の皆様も有料化に対して賛成の意見が圧倒的です。駐車料金については一、〇〇〇円、一、五〇〇円、二、〇〇〇円、などの意見がありました。

現在駐車場利用者は正職員が一〇四名、臨時職員は三〇名です。月額一、〇〇〇円ですと年間一六〇万円、二、〇〇〇円だと年間二四〇万円の収入が見込まれます。有料化により少しでも名鉄の利用促進、またCO₂の削減

にも貢献します。

私たちが議員も議会改革を進めるべく勉強会を発足し研究しています。

私が議員になった平成11年は議員定数一八名、今は二二名に削減し、費用弁償も原則廃止など実施しています。

実施するに当たり①条例を新たに作る②職員との話し合いなどが考えられますが、職員の皆様の理解を得、実施を期待します。

答

【町長】

この件については以前にも質問・提言がありました。そのままの状態です。至っています。

近隣の自治体を調べましたが有料化が進んでいます。

基本的には職員会

に議論を促したいと思っています。

有料化については財政の観点よりも志の問題としての質問と理解いたしました。CO₂の削減、名鉄の利用促進にも貢献すると思っています。職員会にも働きかけ実現することを期待しています。

公務災害規定に矛盾があると思っておりますが、これらのことを考慮しながら実現に向け職員の方々に理解を得るべく努力をいたします。

問

公共料金などの滞納の取り扱いについて

毎年の歳入歳出決算書に「収入未済額」として公表されている税・使用料等については、これらの収入未済額合計が平成22年度で三億八、〇〇〇万円となっている中、町長としてもこの問題については

公平・公正の観点から

も真剣に取り組んでいると認識しています。「払わない人」・「払えない人」を区別し、払わない人には毅然とした態度で臨み、行政としての責務を果たさなければなりません。

以前、この問題を取り上げ、一例として町営住宅家賃の滞納について高額の滞納者に強い内容での督促状を出し支払いを促したところ、何らかの形で支払いに応じた事例がありました。

国会でも某政党が各種滞納金については一歩踏み込んだ対応を提案しています。テレビ報道でもこの問題を特集し、強制執行などの強い態度で臨んでいる自治体の対応を放映しておりました。

財政の面からも公正・公平の観点からも更なる対応を求め

答

【副町長】

資料として提出しましたが、国民健康保険税のように大変取納率の悪い項目もあり、経営が大変厳しい状況です。専門員を置いて回収に努める努力をしております。

国民健康保険税の滞納繰越分を含む七一%の取納率は例外として、他の税や使用料は九〇%前半の取納率です。

コンビニでの取納も成果が上がっており、今後ともあらゆるチャンネルを利用し、財政面からも公平・公正の観点からも各課が連携し、情報を共有した中で、差押等の法的手段を積極的に進め、職員一丸となって取納率の向上に努めます。

新エネルギーと産業振興



伊崎 公介

問

平成22年度に国の緑の分権改革政策による補助を受けて、平成23年2月には「御嵩町クリーンエネルギービジョン」が策定された。その中で太陽光発電マップが公表された。

平成24年度の予算に住宅用太陽光発電システム補助金として五〇〇万円が、災害時の被災者支援を条件にシステム導入者に補助することが計上されている。緑の分権改革の本旨は、クリーンな地域資源の活用で地域の産業振興であった。現在展開されている施策の中にも、運営次第で緑の分権改革の本旨に沿うこと

が可能なものもあり、そうしたものは運営方法を見直し、新たに新産業・新エネルギーに向けた施策展開で、流れを止めることなく、地域振興に努めて頂きたい。

答

【総務部長】

御嵩町クリーンエネルギービジョンで行った町民千名の意識調査では、地球温暖化防止のためクリーンエネルギーに「関心がある」と答えた方は約七〇%を占め、利用を検討している方では「安くなったから利用したい」という意見が約六〇%であった。また、利用したいと思わないと答えた方でも「初期投資費用がかかる

から」という答えが五七%あった。こうした環境への意識を背景に先ず、来年度太陽光発電への補助制度を設け、クリーンエネルギー普及の起爆剤としたい。それ以外の今後の展開は、アクションプランである「みたけ型クリーンエネルギー導入サポートプラン」に沿って具体的施策を展開していきたい。

問

御嵩町は以前に二億円以上の企業誘致奨励金を支払っていた。来年度では四、〇〇〇万円を割り込むという予算計上がなされており、年々減額している。

企業誘致奨励金は町内に企業を誘致し、将来の固定資産税や法人税アップに繋げるために設定されたものと思われる。

企業誘致奨励金が減額されたということは、新たな企業の進出が少なくなったとも考えられる。

厳しい財政状況ではあるが、将来に備えての税収増に繋がる産業振興や企業誘致に振り向けていたきたい。

今回も補正予算で企業誘致奨励金が減額されているが、こうした時も将来の税収アップにつながる政策展開を願いたいと思う。

答

【総務部長】

企業誘致奨励金は、固定資産税として一旦納税されたものを、納税した企業に奨励金としてその相当額を交付する制度である。当初予算では、納税額の見込みを計上しているが、実際に納税された固

定資産税が当初見込みが景気低迷等で減少したことで、それに連動して約四、〇〇〇万円交付額が減額したものであり、格別余剰財源が生じたものではない。また、固定資産税は、一般財源で、町が様々な施策に充てる財源であるが、一旦町に納税され奨励金として交付しているので、財源が乏しく財政力の弱い地方自治体に交付される地方交付税は、固定資産税が一旦納税されたことで減額されるという側面もあることをご理解されたい。しかしながら、グリーンテックへの企業誘致がほぼ終了した現在、次なる税収確保のための企業誘致策が必要であるという認識があり、最優先で検討したい。

広見線存続に向けた法定協議会の設置は



岡本 隆子

問 広見線存続のための法定協議会に関する

①御嵩町議会では「名鉄広見線存続のための法定協議会設立に関する決議」を平成22年第2回定例会で全員の賛成により決議している。また、町長の公約では平成23年度中に法定協議会を設置するという

ら分かつていたことである。平成24年度は町の費用で運行を計画しているが、これまでの試行運転中にもこのような検討をされたのか。

答 【企画調整担当参事】

①利用者数減が下げ止まらない中、最大の論点は平成25年度以降の存続に向けた御嵩町・可児市の財政支援のあり方と金額。平成25年度当初

して説明を尽くし早期の枠組み構築に努める。
②頻度は概ね2ヶ月に一回程度。内容は利用促進策の他、今後の財政支援のあり方、金額等。
③町民意見交換会、公共交通研究会を開催。広見線を軸とし、エコバスの成果も取り込み、デマンドバスの導入も含めた新バス交通体系案を取りまとめつつある。平成25年度移行を目指しており、経過措置として一般財源での事業継続を提案した。

はどのような議論をされ、検討を重ねてきたのか。今後についてはどう考えていくか。
②わいわい館はまちづくりの情報発信の場でもある。観光情報だけでなく地域情報発信をしていく場であると考える。横の連携も取りながら、どのように情報発信をしていくのか。

答 【総務部長】

①指定管理者制度への移行については、当時メリットとしてあげたサービスの向上や経費の節減が期待できる団体があれば移行させたいとの考えを変えていません。しかしながら現時点で団体が育っていないので、引き続き管理運営を安心して任せられる団体や団体の指導者の育成を図って行きたい。

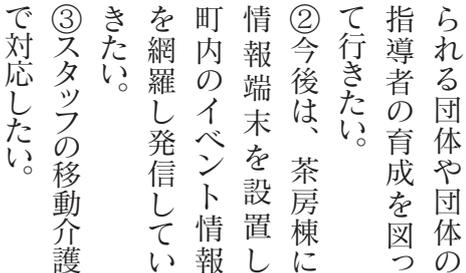
②今後は、茶房棟に情報端末を設置し、町内のイベント情報を網羅し発信していきたい。

③スタッフの移動介護に対応したい。

次に設置されていない。今後どのようなスケジュールで臨まれるか。
②名鉄との話し合いはどのくらいの頻度で、どのような内容を話し合っているのか。
③エコバスの運行は平成23年度で補助が打ち切りとなり当初か

み込んだ議論に入っていたかどうか。可児市と調整中。可児市の法定協議会設置に関する判断はなお明確なものとなっておらず、御嵩町と

問 わいわい館について
①わいわい館は平成22年5月に開館した。当初より、運営形態は指定管理者制度の移行を考えていくということであった。これまで民営化について



常任委員会視察研修レポート

民生文教常任委員会

- 1 視察研修目的 環境に配慮した施設について
(児童福祉施設並びに学校教育施設等)
- 2 視察研修日 平成24年2月1日(水)・2日(木)
- 3 視察研修先 静岡県伊豆の国市
- 4 参加委員 委員長 佐谷 時繁 副委員長 山田 儀雄
委員 大沢まり子 委員 植松 康祐
委員 柳生 千明 委員 安藤 雅子
- 5 伊豆の国市の取り組み状況

I 資源環境センター「農土香」^{のどか}

竣工……………平成22年10月19日

建設面積……………1,768㎡

総事業費……………202,508 千円

- ①建設趣旨：平成19年3月に策定した市の「第1次総合計画」に基づき「安全・安心・健康の街づくり」キーワードは“食と農”を位置づけた。具体的な施策として、蓄糞や食品残渣などを活用し、有機質堆肥を製造し、それを利用して栽培した、安全で安心な野菜や米を市民や観光客に提供。食による健康づくりに結びつけた循環型社会を形成する。その中心的施設として建設。採算を第一目標とはしない。
- ②建設概要：混合槽、1次堆積発酵槽、製品置場、袋詰施設、管理棟、トイレ、トラックスケール
- ③1次が堆積型、2次がロータリー攪拌による発酵、トータルで45日から60日で堆肥を製造する、また、臭気を抑えて発酵させる方式。処理過程で排水も出ないシステムを採用。
- ④搬入量：食品残渣（旅館、ホテル、市内給食センター）・牛糞・剪定枝などでトータル4,700kg／日



II 伊豆の国私立長岡幼稚園

コンセプト：「よく遊びよく学ぶ幼稚園」「安全・安心な幼稚園」「地域に開かれた幼稚園」

- 明るくて風通しのよい保育室：各保育室には、一部開閉式のトップライトを設け、明るくて風通しのよい保育室
- 温かみのある木造の園舎：内部は木の柱や梁が見えるデザインとし、自然素材を多く用いることで、優



しい雰囲気にした。

- 園舎の真ん中の多目的ホール：雨の日などの子どもたちの遊び場として、さまざまな活用を可能にした。
- 広く見渡しのきく廊下：廊下幅をゆったりと取ることで、子どもたちが安心して駆け回ることが出来る。また、職員室から廊下やホールを介して各保育室が見渡せる。

Ⅲ 伊豆の国市立大仁中学校

エコスクールパイロット・モデル事業の認定校

コンセプト：自然の力を利用し地球環境に配慮した「低環境負荷、省エネ型校舎」「地域で育むもうひとつの家」

- 自然の光：安定した自然光を取り入れ、強い直射日光はカット
- 自然の熱：屋根面の太陽熱を利用した OM ソーラーシステムの採用
- 自然の風：大仁スクエアを中心とした中庭型プランで自然通風に配慮
- 自然の雨：屋根に降った雨水を集めて、トイレ洗浄に利用



校舎棟鉄筋（コンクリート）：地上3階

部屋棟：地上2階鉄筋コンクリート

第1グラウンド、第2グラウンド、テニスコート（4面分）

総工費 23億4千6百万円

■質の高い教育空間をそなえた学校……………ハイクオリティスクール

■生徒・地域の皆が安心して利用できる学校……………セイフティスクール

■季節を感じ快適に過ごせる学校……………エコスクール

■地域社会の未来へ残す長寿命化を目指した学校……………センチュリースクール

総評 3町が合併して平成17年に約5万人の「伊豆の国市」が誕生した。国の合併推進の恩恵を受け、大きな財政的援助を糧に積極的にインフラ整備を行ってきた。財政規模の違いや街の成り立ちの違いなどを考えると御嵩町とはかなりの違いがあるが、環境に配慮した政策や、将来を担う子どもたちに対する目線は大いに参考になった。

この地域は地震などの自然災害が懸念される地域であり、そのことを十分配慮した高品質の学校である。高台に建設されておりいざというときの市民の避難場所としても大きな位置づけとなっている。

総務建設産業常任委員会

- 1 視察研修目的
 - ・被災者支援システム（西宮市）
災害時の被災者支援に被災者支援システムの活用法
 - ・まちづくりと地域振興（宝塚市）
まちづくり基本条例と市民参加条例を活用した地域振興
- 2 視察研修日 平成24年2月7日(火)・8日(水)
- 3 視察先 兵庫県西宮市・宝塚市
- 4 参加委員

委員長 伊崎 公介	副委員長 加藤 保郎
委員 谷口 鈴男	委員 岡本 隆子
委員 山口 政治	委員 高山 由行
- 5 視察研修結果

■西宮市

(1) 西宮市の概要

人口：472,055人（H23.4.1 現在）
世帯数：206,841世帯（ 〃 ）
面積：100.18km²

(2) まとめ

被災者支援システムは、2006年に「財団法人自治情報センター」に被災者支援システム全国サポートセンター経由でリリースされた。東日本大震災前に230自治体が導入していたに過ぎなかった。東日本大震災直後に西宮市が救援を申し入れられ、受け入れられ



た自治体では住民基本台帳すら流失していたが、住基ネットから得たデータをもとに被災証明書を発行できた例もあったという。また、東日本大震災以降は震災前の3倍以上の740自治体で導入されている。

御嵩町も被災者支援システムは導入されており、このシステムは住民基本台帳のデータさえあれば、そのデータをもとに被災者台帳が作成され、家屋の被災状況、安否情報、避難先、銀行口座が一括管理される。これにより義援金の支給などがスムーズになった。端末入力により避難所での入力も可能であり、避難した住民（乳児や要介護者等）にあった救援物資の給付等が可能である。

このシステムは行政の仕組みや制度を理解した行政マンが作成したものであるため、実践に大いに役立つシステムであるという感触が得られた。また、その後の災害で浮き彫りになった課題も克服しながら改善されていくであろう。

こうしたシステムは使用する機会がないのが一番であるが、災害時に備えて避難訓練に取り入れる等、理解を深めておきたいものである。また、行政マンが行政の計画や立案を住民の立場で作成する重要性も大いに感じた。何ごとに対してもコンサルタントに丸投げすることなく、行政マンが地に足がついた計画や立案することも重要である。

■宝塚市

(1) 宝塚市の概要

人 口：226,164 人（H23.4.1 現在）

世帯数：92,395 世帯（ 〃 ）

面 積：101.89km²

(2) 宝塚市のまちづくりの現状

市内の7ブロックの地域計画から大中小エリアのコミュニティが組織され、大エリアは、生活完結型ブロックに連絡会議（自治会役員、民営・児童委員、PTA 役員などまちづくり協議会の代表）がある。中エリアは、小学校区約1万人程度で組織され、地域のまつり、

運動会などの催し、行政の地域情報との出会い等の実際の活動主体。小エリアは近隣200～300世帯の自治会レベルのコミュニティであるが、街頭ケア等の防災防犯、相互扶助の役割等が組織された。

その中でもまちづくり協議会は主に中コミュニティで組織されており、〇〇コミュニティという呼称で呼ばれ、30万円から80万円の補助により、まつりや勉強会、情報ネットワークなどのコミュニティ活動や交通安全対策活動、地域美化活動を行っており、それぞれの趣向をこらした情報誌がコミュニティで発行されることが義務付けられている。催しは地域に密着したものであり、世帯が活動主体でないため、一部の人のための活動ではなく、世代を超えて幅広い住民の参加が地域コミュニティで役立っている。

自治会崩壊の危機と住民が主体になった行政への参画が合体した宝塚市のまちづくりの初動はどここの地域でもできるとは言えないが、誰かが主導しそのために補助金を獲得してくるというのではなく、コミュニティ内の自主的な活動が地域を作り上げ、行政の手の届かないところまで、住民との協同で実現できるまちを作り上げたといえる。こうした活動の利点として、地域の能力ある人材を発掘できる点もあったという。御嵩町でもそれぞれの地域にて起動したコミュニティを確立していきたいと感じた。



町議会の やくわりは？

◎議決機関と執行機関

町議会は議決機関として、町政を進めるうえで大切なことがらを話し合い、決めていくところです。そして、町長をはじめとする執行機関は、町議会の決定にそって実際に仕事を進めていきます。

町民



私たちの意見や希望をかなえてくれる人を選挙で選びます。

町民のくらしをよくする仕事をします。



議会

町の仕事の内容や、お金の使い方について提案します。

町の仕事の内容や、お金の使い方について協議し、決定します。



町長

町議会の一般質問を ケーブルテレビ可児で放映しています



現在、御嵩町議会では、定例会で行われる一般質問をケーブルテレビ可児で放映しています。

一般質問の様子は、当日に生放送される予定ですが、録画放送及び再放送もできませんので、町議会を傍聴することができない方は、ぜひご覧ください。

御嵩町議会をご覧になるには、ケーブルテレビ可児に加入していただく必要がありますが、詳しくは、下記にお問い合わせください。

【問合せ先】 株式会社 ケーブルテレビ可児 〒509-0214 可児市広見7丁目90番地 ☎0574-63-7955

議会日誌

【24年2月～4月】

2月

1日 民生文教常任委員会視察
研修

2日 民生文教常任委員会視察
研修

6日 議会運営委員会
全員協議会

7日 総務建設産業常任委員会
視察研修

8日 総務建設産業常任委員会
視察研修

9日 可茂地域市町村議会議長
会議

10日 第1回臨時会

16日 名鉄広見線対策特別委員
会

17日 議会運営委員会
みたけ産業交流会

22日 民生文教常任委員会協議
会

23日 総務建設産業常任委員会
協議会

27日 全員協議会
議会運営委員会

29日 第1回定例会(初日)

3月

1日 中濃地域農業共済事務組
合議会定例会

2日 可児川防災ため池組合議
会定例会

7日 可茂地域一部事務組合議
会定例会
第1回定例会(一般質問)

8日 全員協議会
第1回定例会

9日 中学校卒業式

12日 御嵩小学校議会見学
民生文教常任委員会協議
会

14日 総務建設産業常任委員会
協議会

16日 J Aめぐみの デイサー
ビスセンター竣工式

23日 第1回定例会(最終日)
小学校卒業式

25日 マレットゴルフ大会

26日 保育園卒園式
郡町村議会議長会長会

27日 可茂地域懇談会
共和中学校組合議会

28日 御嵩町消防団入退団式

3日 御嵩保育園入園式
教職員歓迎会

4日 議会報編集委員会
各保育園入園式

9日 小・中学校入学式
リニア中央新幹線建設促
進岐阜県期成同盟会定期
総会

11日 名鉄広見線対策特別委員
会

12日 全員協議会

13日 亜炭廃坑対策特別委員会
可茂町村議会議長会

20日 議会報編集委員会

23日 議会活性化研究会研修
26日

4月

編集後記

議員になってから町内各所で行われる催し物に伺う機会が増えました。会に出ても、行事に出ても町民の皆さんが活発に一生懸命活動してみえる姿に出会います。この皆さんの活動や思いが縦にも横にもつながって、より大きな力を発揮できるように私達議員もがんばっていききたいと思っています。

「議会だより」では、審議結果を個人表にして〇×で、反対意見の討論もできるだけ載せるようにしました。興味をもって読んでいただけたら幸いです。感想、ご意見をお待ちしています。
(A・M)